

はじめに

レシピ集なんて作っちゃいけない人間が、レシピ集を作ってしまった。
〈大さじ1〉くらい、なんて適当なことを。
私のついてるウソは大さじ1どころか山盛りでも効かないかも知れません。

「このメニューが食べられなくなっちゃうなんて」と
「ここでしか食べられないものばかりなのに」と
たくさんの嬉しくて切ない言葉に私の心はつんつん突つかれて、
まさかの決心をしてしまったのは閉店2週間前のことでした。

「これからは、このメニューを作ってもらおう、おうちで！」
そんな思いつきに自分でもちょっと酔ってしまって気も大きくなって、
ちゃんと分量を計ったり割り出したりを真つすぐな気持ちでやり通せるような気がしたんです。

飯島奈美さんや栗原はるみさんのように、何度も何度も試作を繰り返し、
誰もが失敗なく美味しく作れるレシピを完成させる愛と気力と分析力。そして体力。
尊敬する料理家の人たちのように、そういう力を、一生に一度、今だけでいいから
神様おねがい私にください、と夜空の月を見上げたのは、ついこの間のこと。

しかしギブアップはあまりにもすぐやって来てしまいました。
何度も何度も作ったことのあるメニューをあらためて、
計量カップや計量スプーン、デジタル計量器に見守られながら作っていると、
どんどん気がふさいでくる私がいて。
こうなると計量ウツとでもいうのでしょうか、味をみても、もうよく分からない。。
そのうち「小さじ1って言ったって、ナンプラーの種類によっても塩分ぜんぜん違うしなあ」とか
ぶつぶつひとりごとを言い始める始末。

みなさま♡、ごめんなさい。こんないい加減なレシピ集はないかも知れません。
適宜だの、少々だの、ぐらいだの。
2人前とか4人前とかももっととか、それさえマチマチで。
みなさま♡の勘にセンスにこれほど頼り切ったレシピは、レシピとも呼べないかも知れません。

だけど、どうぞ「タケハーナで食べたあの味！」の記憶を辿りながら、
このいい加減かも知れないレシピを微調整しながら（時には大幅に調整しながら）
なにかひとつでも再現してみてくださいたら、嬉しくてヨダレが出てしまいます。
きっとすごく美味しいもんが出来てしまう気もする。いや、気がします！
んー、作ってくれなくても、写真を眺めて思い出してもらえたら、幸せだなあ。

この26のメニューひとつひとつのテキストを書きながら、
はじめてソレを作った時のことを思い出してとても楽しかったです。
その「楽しい」気持ちだけはひとつひとつのレシピに込めました。

同じ想いでタケハーナのもうひとりの料理人である岡田順にすべての写真を撮ってもらいました。
そういう意味でもプロっぽくない【自家製のレシピ集】になりました。